

CYTEC 内田OMから譲ってもらった基板で 16MHz LC-VFOを組み立てました。

VFOのQRHを室内で30分間計測したところ、計測開始後20分くらいで安定してきました。もう少し長い時間計測する必要があるかもしれませんが、500HZ程度変動した後、運用可能な程度まで安定するようです。

昔で言えば、「電源ON 30分後、1時間以内±100HZの周波数変動」といった表現になるのでしょうか。  
(KWM-2と同じくらいの安定度?)

尚、回路は諸般の理由で次のように変更しています。  
添付の回路図を参照してください。

変更の概要：

① VC1(同調用バリコン)： 20PF → 7PF~26PF

② C1： 15PF → 9.7PF

※ ①、②により 同調範囲が 15.995MHz~16.110MHZ になりました。

③ TC1： 30PF → 45PF

④ D1(定電圧ダイオード)： 付けていません

⑥ DC12V： 電源入力を DC6V へ

⑦ 手持ちに FCZ10-14 が無かったので FCZ10-9 で代用(C23:51PF→20PF)

⑧ R13(3.3KΩ)： 付けていません

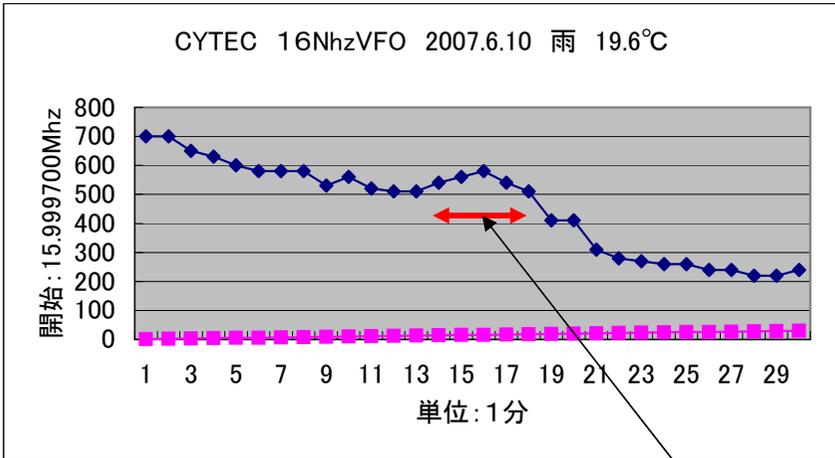
⑨ C5(4.7μH)： 付けていません

⑩ C9(104)： 付けていません

⑪ R9(510Ω) → 470Ωへ(510が無かったので...)

⑫ fc=21MHZのフィルタ： 付けていません(16MHZ用の材料が足りませんでした)

その他 トランジスタは CYTECさんの回路図のとおり  
2SC1815GR × 3個 で作ってみました。



この盛り上がった部分は、測定中に XYL が側を行ったり来たりしたのできっと空気がかき回され、基板のまわりの温度が変化したのではないかと思います。

今度は、プラネット40にセットし、ケースに入れた状態で計測する必要がありそうです。